

総務文教常任委員会 意見交換会 報告書

1	開催日・会場	令和2年9月17日（木曜日） 全員協議会室
2	開催時間	午後2時00分～午後3時30分
3	出席委員	門田直樹委員長 神武綾副委員長 長谷川公成委員 原田久美子委員 徳永洋介委員 柳原荘一郎委員
4	参加団体及び人数	太宰府市文化協会6名
5	目的	コロナ禍における文化協会および文化・芸術の現状を把握し、今後の議論に反映させる。
6	テーマ	特に設けず
7	主な意見と応答	<p>○議員から協会への質問</p> <p>Q. コロナ禍でどのような影響を受けているか？</p> <p>A. 協会としての活動が止まってしまった。特に市民遺産イベント（令和コンサート）は、準備が完了した上での中止だったため、ポスター、チラシは完成済み、チケットも販売されていたため共催者とともに大きな損害を受けた。同じく最大行事である春の祭典も中止になった。</p> <p>また、（会員の負担軽減のため）会費を半額にするとともに、行政や議会が経費削減していることから、市と協議のうえ、当初70万円であった市からの補助金額を20万円減額したことで収入が半減した。どこの団体も同じ状況だからと納得はしたが、やはり辛い状況である。</p> <p>協会事務所を構えさせていただいている事へは感謝しているが、家賃として年間15万円の負担は大きく、広報費や役員手当を削減している。</p> <p>（加入団体である）音楽教室などの練習は、教室の使用制限、人数制限により以前のような活動は全くできない。新しい生活様式の中での新しい文化活動をどうして行こうか考えている。</p> <p>▶議員からの意見と提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損失補てんのため、補助金の返還をやめるなどは市に相談すべきだったのでは。</li> <li>・急な変化で多くの楽しみが失われていると感じる。</li> </ul> <p>Q. 年度によって補助金にバラツキがあるが市との疎通はとれているか？</p> <p>A. 市の予算査定を経て協会の補助金額が決まる。協会側から金額について要求したことはない。</p> <p>Q. 会員にとっての入会メリットとはどういうものか？</p> <p>A. 稽古場であるプラムカルコア、いきいき情報センター、とびうめアリーナの施設使用料の半額減免が受けられる。また、年に一度の春の祭典というステージで、努力した成果を披露できることが生きがいになっている。</p>

## 総務文教常任委員会 意見交換会 報告書

Q. 今後の協会運営で考えていること、望むことは何ですか？

A. 今後進むべき方向性が分からずにいる中にコロナが発生したことで考えるきっかけが生まれた。市民文化祭と芸術の祭典の合同開催について。現在、市民文化祭は全て市が運営しているが、出演者は協会からも手を挙げている。一方、芸術の祭典の主催は協会であるが、メンバーの高齢化などイベント運営に支障が出ている。

合同の催しとして、事務局的なことは市が、出演者集めなどは協会が行う形が取れないか考え、今回はじめて市に提案した。折り合いをつけるのは簡単ではないと思うが何かが変わっていかないといけないの思いだが、まだ結論は出ていない。

### ▶議員からの意見と提案

- ・合同開催は集客面からも良いと思う。
- ・子どもを含めて人数規模を大きくしてはどうか
- ・体育協会のように市事業の指定管理を受けて財源確保してはどうか
- ・本市は文化に対する予算が大きいですが、そのほとんどは文化財に対してであるため、文化芸術活動にもっと親身になるべきだ。
- ・スポーツ振興費が大きいのは教育的要素が含まれているからだが、文化振興の中にも教育がある。子どもを含めて全世代的な団体を目指せば支援を得られやすくなる。

Q.市民文化祭の運営に対し協会はどこまで参画しているのか？

A.演者としてかなりのメンバーが手を挙げ盛り上げている。ボランティアとしても運営に参加している。

### ○協会からの意見と要望

- ・まほろば衆の活動は世界が認めると共に、SNS や YouTube を活用して積極的に発信し大きな反響を呼んで県文連も注目している。太宰府の文化の起爆剤ともなる団体なのでもっと市に支援してほしい。
- ・太宰府館の舞台照明設備の充実と施設使用料を減免してほしい。
- ・とびうめアリーナを文化イベントに利用してほしい。
- ・太宰府ルネサンス宣言にある通り文化施設の集約を図ってほしい。